

ヤングケアラーを応援する寄附

「健康とゴルフを楽しむ仲間の会」が、ヤングケアラー（本来大人が担うべき家事や家族の世話を日常的に行っている子どもや若者）を応援したいと福島市に9万2,310円を寄附し、同市から感謝状を贈られました。

発起人である渡邊富士男さん（飯槌町）が7月22日に来庁し、「ゴルフを共に楽しむ仲間の協力で、今年も善意を届けることができました」と杉岡村長に経緯を報告しました。この寄附活動は、4年連続の取り組みです。



永井川カフェ セタ＆流しそうめん

多彩な企画で村民が交流する『愉快的幸セカフェ永井川』（代表世話人・佐藤俊雄さん／草野）が、7月8日に村民の森あいの沢民家園で「セタ飾り作り＆流しそうめん」の会を開きました。普段は子ども達の活動を見守る側ですが、この日は子どもに戻って大はしゃぎ。14人の参加者が、「セタ飾り作り」と「流しそうめん」を楽しみました。セタ飾りには、「健康長寿」「周りの人達と仲良く」などを願う短冊が、色とりどりに揺れていました。



2025わくわく交流フェスタ

7月13日、白石地区の細川牧場にて、昨年続き2回目の『わくわく交流フェスタ』が開催されました。主催はゲストハウスCOCODA（ココダ）です。株式会社サクラ・シスターズの峯岸ひろさんが司会を務め、音楽演奏やコスプレダンス、福島も娘のパフォーマンス、東京大学の学生によるダブルダッチ演舞など、さまざまなステージショーが行われました。また、乗馬体験など動物と触れ合うアトラクションも人気を集め、会場は子どもから大人まで多くの来場者でにぎわいました。



図図倉庫で「環世界」を学ぼう

株式会社MARBLINGが、図図倉庫の展示をリニューアル。宇宙の誕生から現代までの時間軸を念頭に、飯館村を通して、人間を取り巻く環境世界を学ぶことができる、ユニークで実は身近な展示です。

同社は、展示の解説とフィールドワークを組み合わせた新しいツアーを企画。8月からスタートするこのツアーは、飯館村のふるさと納税返礼品にも認定されています。フィルムイベントやコーヒーイベントなどの開催もあります。皆さんもぜひ足を運んでみては。



森林組合 年度初めの伐採式

6月25日、深谷地区で飯館村森林組合の『令和7年度伐採式及び安全祈願祭』が執り行われました。同組合は昨年続き「ふくしま森林再生事業」を受託し、村内の森林整備を進めます。式では佐藤長平組合長（宮内）が「森の恵みに感謝をしながら、村の林業振興に努めていきたい」とあいさつ。来賓として招かれた中川副村長はあいさつの中で「林業の発展と森林の再生に、森林組合と共に励みたい」と事業推進の決意を述べました。



ボン大学・東京大学が農業視察

東京大学大学院農学生命科学研究科・国際農業開発学コースと、ドイツのボン大学・開発研究センターの合同チームが飯館村を訪れ、村の農業の現状や復興の状況を視察しました。6月18日は佐須地区のブドウ農園を訪問。翌19日には東京大学の学生らがホップを栽培している上飯槌地区の農場を見学し、栽培に協力する大澤和巳さん（上飯槌）と共に、カメラの取り付けや農作業体験、トークセッションなどを行いました。

